



●美唄歯科医師会会員
雨田 実

「道歯会通信の思い出」

古きをたずねて

記憶にあやまりがなければ、小生が道歯会通信に投稿を始めたのは、道歯会通信が第3種郵便物として認可された昭和27年12月、第150号の頃と思う。現在平成16年1月号が第646号であるので40年近くを遡る頃で、道歯会長は石井先生、編集委員長は小林先生であった。

懐かしい前の前の道歯会館

古式豊かなカトリック教会を思わせるような木造のものであったが、今となっては懐かしいもののひとつである。さだかでない記憶をたどりながら、道歯会通信の思い出をたどたどしいものではあるけれど一字一字綴ることはなんともいえない楽しみといえる。

面白きかな、その企画

その頃道内郡市区会長を親しみをこめて語る「おらが会長」という特集。「一年をかえり見て」のタイトルの郡市区専務理事の誌上座談会など楽しい読み物であった。

保険の勉強もしなくちゃ

昭和40年頃から「保険の広場」という小樽の喜田先生（元道歯副会長）の執筆による保険の「カンドコロ」を的確に伝えて余すところがない立派なものうえに、その文章が素晴らしい名文で保険の勉強の外に文学まで教えてもらえる楽しさで毎月が待ち遠しかった。

一年に一度の楽しい集い

現在は広報担当理事連絡協議会と改称されたが

日頃道歯会通信誌上でしかお眼にかかれない先生がたと一堂に会することは大変に楽しい。通信の表紙の色・巻頭言・論壇・読者の声・ローカルニュースと協議は進行する。

栄光よいつまでも

道歯会と会員とを結ぶ良きパイプとしての道歯会通信が昭和46年度に都道府県歯会広報誌コンクールにおいて道歯会の数倍以上の広報予算を使っている大都市歯会を寄せつけずに堂々と第1位の栄冠に輝いた「われらの道歯会通信」の益々の発展を祈念して止まない。

ご苦労さまです。

昭和23年12月道歯会通信第1号の発行以来今日で648号を数える発行までに培われた歴代の道歯会会長はじめ歴代執行部の諸先生、また裏方の仕事にいつも尽力を惜しまない事務局の方々には、誠に感謝の外ありません。謹んでお礼を申し上げます。

迷文とはこのこと。

以上とりとめない拙文を乱筆で綴り、道歯会通信第648号の中に載せていただく光栄を謹謝し、ご無礼をお詫び申し上げますと共に文中に道歯会の諸先生のご氏名を無断で載せさせていただきましたことを謝するものでございます。